

くまもと健康支援研究所が優良賞

# 「医商連携」に高評価

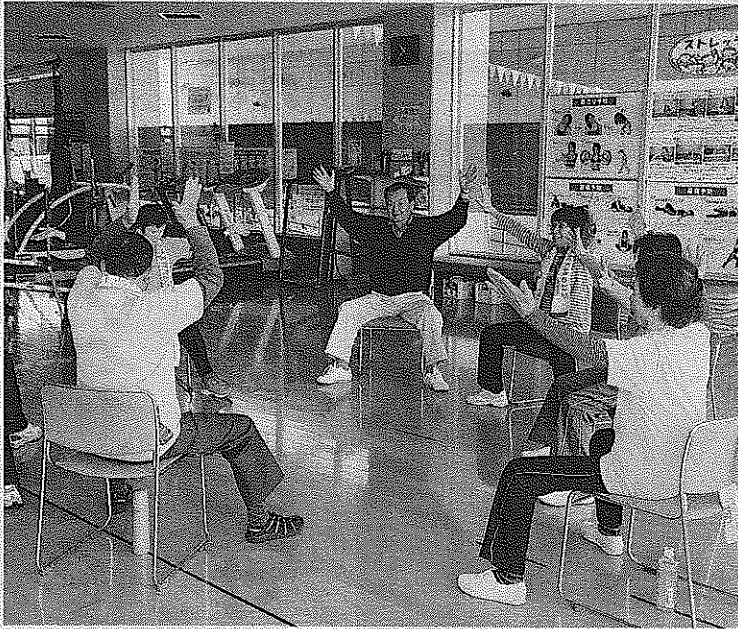
厚労省主催

## 健康寿命をのばそう！アワード

健康福祉系ベンチャー「くまもと健康支援研究所」（熊本市、松尾洋社長）が、厚生労働省主催の「第1回健康寿命をのばそう！アワード」の企業部門優良賞を受賞した。同市北区植木町などで取り組む、運動したポイントを商品券に換える「医商連携・うえきモデル」が評価された。県内からの受賞は同研究所のみ。



松尾洋社長  
同アワードは同省が生活習慣病予防を目的に2012年度に創設。予防、啓発に取り組む全国の自治体、団



## 「うえきモデル」運動ポイント化 商品券に

体、企業3部門に166団体に応募。最優秀1件、優秀3件、優良15件を選んだ。

同研究所は、指定管理者として管理・運営する同町健康福祉センター「かがやき館」を中心に「うえきモデル」を展開。トレーニング室など1カ月のべ約500人の施設利用者に向けて心じたポイントを付与、50円で植木町商工会の協力7店で使える商品券千円を贈る。同町や山鹿市で医師の指示に従った弁当の配達サービス、15医療機関と連携した退院後の疾病管理アドバイスなど、地域と連携した点も評価された。

松尾社長の38は「ゆくゆくは『くまもとモデル』と呼ばれるよう取り組みを広げたい」と話している。

（林田賢一郎）

「かがやき館」で運動する人たち。利用回数に応じてポイントが付き、商品券に交換できる＝熊本市北区